



S.Suzuki

THE NIKKAN SPORTS SHO NAKAYAMA KIMPPI

第74回 日刊スポーツ賞 中山金杯 (GIII)

1着 43,000,000円 2着 17,000,000円 3着 11,000,000円 4着 6,500,000円 5着 4,300,000円
付加賞 630,000円 180,000円 90,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2024.1.6以降2024.12.28まで1回以上出走馬、除外未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.5 中山 番・良 芝2000m (国際) (特指)

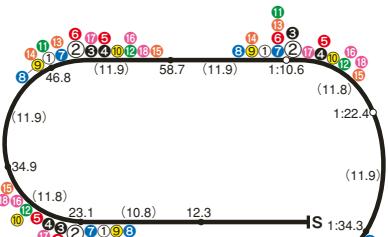
種馬	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1 ②	アルナシーム	牡 6	58	藤岡佑介	1:58.1	11-10-9-6	34.6	452(+2)	8.4(4)	橋口慎介(栗東)	112
2 ⑦	マイネルモント	牡 5	55	丹内祐次	1:54	13-12-11-9	34.6	466(+8)	10.2(6)	高木 登(美浦)	103
3 ⑯	ボーンディスウェイ	牡 6	57	木幡巧也	1	3-3-3-3	35.7	498(+6)	16.5(8)	牧 光二(美浦)	105
4 ⑮	クリスマスハイカード	牝 4	55	石川裕紀人	1:56	1-1-1-1	36.1	460(-4)	4.4(1)	加藤土津八(美浦)	102
5 ⑨	ギャラクシーナイト	牡 6	56	菊沢一樹	ハナ	16-16-16-14	34.5	512(+8)	88.4(9)	菊沢隆徳(美浦)	104
6 ③	パラレルヴィジョン	牡 6	58	T.マカド	クビ	9-8-9-9	35.0	492(+4)	11.3(7)	国枝 栄(美浦)	106
7 ⑤	ショウナンアディープ	牡 6	55	池添謙一	アタマ	6-6-6-6	35.4	510(-6)	19.6(8)	高野友和(栗東)	107
8 ⑧	エアファンディタ	牡 8	57.5	戸崎圭太	1	18-18-18-18	34.4	470(+4)	26.0(0)	池添 学(栗東)	108
9 ⑯	ハウオウビスクケット	牡 5	59.5	H.ドイル	クビ	2-2-2-2	36.4	506(+4)	4.6(2)	奥村 武(美浦)	109
10 ①	ラーグルフ	牡 6	57.5	菅原明良	½	15-14-15-11	35.1	496(-4)	42.5(0)	宗像義忠(美浦)	110
11 ⑩	セイウンプラチナ	牡 6	54	内田博幸	クビ	4-5-5-4	36.0	512(+24)	120.5(0)	千葉直人(美浦)	111
12 ⑰	シンリョクカ	牝 5	56	木幡初也	ハナ	7-8-8-11	35.5	466(+4)	7.8(3)	竹内正洋(美浦)	112
13 ⑥	カラテ	牡 9	59	杉原誠人	%	9-10-11-14	35.4	546(+16)	64.8(0)	音無秀孝(栗東)	113
14 ④	ジェイバームズ	驕 5	56	佐々木大輔	クビ	7-6-6-6	35.9	510(+8)	29.8(0)	堀 宣行(美浦)	114
15 ⑭	リカンカブル	牡 6	58	津村明秀	2½	16-16-16-16	35.5	496(+6)	8.5(5)	田中克典(栗東)	115
16 ⑬	アドマイヤビルゴ	牡 8	57	北村宏司	5	11-12-11-16	36.6	444(±0)	244.5(0)	友道康夫(栗東)	116
17 ⑰	ディオスパリエンテ	驕 7	55	大野拓弥	3½	4-3-3-4	38.2	482(+4)	73.5(0)	堀 宣行(美浦)	117
18 ⑪	カレンシュトラウス	牡 8	54	荻野 楓	%	13-14-11-11	37.3	528(+4)	258.7(0)	平田 修(栗東)	118

単勝②840円(4%)*、複勝②300円(5%)*、⑦310円(6%)*、⑯430円(8%)*、枠連①-④2,050円(10%)*

馬連②-⑦3,660円(14%)*、ワイド②-⑦1,320円(14%)*、②-⑯2,700円(35%)*、⑦-⑯2,310円(28%)*

馬単②-⑦6,990円(26%)*、3連複②-⑦-⑯20,630円(74%)*、3連単②-⑦-⑯93,740円(332%)*

5重勝⑯⑩⑨⑦⑧②3,719,720円(125票) 対象競走：中山9R／中京10R／中山10R／中京11R／中山11R



通過タイム： 600m 800m 1000m
34.9 - 46.8 - 58.7

上り： 800m 600m
47.5 - 35.7

アラカルト

- 藤岡佑介騎手は中山金杯初勝利。JRA重賞は通算48勝目
- 橋口慎介調教師は中山金杯初勝利。JRA重賞は通算5勝目
- モーリス産駒はJRA重賞通算24勝目
- 6歳馬の勝利は20年トライオンフに続く通算14回目
- 非当選馬 1頭(レガトウス)
- 非抽選馬 5頭(アケルナルスター、グラムスラムアスク、シルトホルン、シーズンリッチ、パラジ)

アルナシーム *Al Naseem*

牡 鹿毛 2019.4.14生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・ライオンレースホース(株) 栗東・橋口慎介厩舎
馬名意味・海風(アラビア語)。母名より連想

		ドバイマジェスティUSA系 F2-s	
モーリス 鹿毛 2011	スクリーンヒーロー ¹ 鹿毛 2004	グラスワンダーUSA	
		ランニングヒロイン	
	メジロフランシス 鹿毛 2001	カーネギーIRE	
		メジロモントレー	
ジュベルアリ 鹿毛 2013	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA	
		ウインドインバーへアIRE	
	ドバイマジェスティUSA 黒鹿毛 2005	Essence of Dubai	
		Great Majesty	

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4 Lyphard S5×M5

INTERVIEW

佐々木淳吏 厲金長(ノーザンファーム空港)

活躍が期待できる勝利となりました

2歳の頃はがむしゃらに走っていましたが、年齢やレース経験を重ねていくうちに落ち着きが出てきたのでしょう。そこに厩舎での管理や、手綱を取ってきたジョッキーの皆さんとのアプローチが、距離適性の幅を広げてくれたと思います。レースが速い流れになったのもこの馬には向いた感じもありますが、今後は中距離重賞での活躍が期待できる勝利となりました。



記念(小倉・1800㍍)で重賞初制覇を達成。とはいその後は富士Sの着マイルチャンピオンシップ1着と結果が出なかつたため、これまで好走実績がなかつた2000㍍戦(過去に2戦して6、8着)に活路を求められた。スマーズに折り合い、鋭い差し脚を繰り出したこの日の走りは高い『適性』の証明。キャリアを重ねつつ、着実に地力も強化してきた6歳馬が中距離界の新星に躍り出た。

父モーリス

北海道日高町 戸川牧場生産 中央、香18戦11勝(天皇賞(秋)^{G1}、香港C^{G1}、香港マイル^{G1}、チャンピオンズマイル・香^{G1}、安田記念^{G1}、マイルチャンピオンシップ^{G1})、年度代表馬、最優秀短距離馬、特別賞、17年から日、豪で供用〔代表産駒〕ヒツト Hitotsu(ヴィクトリアダービー・豪^{G1}、オーストラリアンギニー・豪^{G1}、ATCダービー・豪^{G1})、マズ Mazu(ドーウームベン10,000・豪^{G1})、ジャックドール(大阪杯^{G1})、ピクシーナイト(スプリンターズS^{G1})、ジエラルディーナ(エリザベス女王杯^{G1})、アドマイヤズーム(朝日杯フューチュリティS^{G1})、ノースブリッジ(札幌記念^{GII})、マテンロウスカイ(中山記念^{GII})、ディヴィーナ(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{GII})、シュトラウス(東京スポーツ杯2歳S^{GII})、シゲルビンクルビー(フィリーズレビュー^{GII})、バンクモー Bank Maur(アリスタークラークS・豪^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母ジュベルアリ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 不出走

ロジマジエスティ (17 牝父エピファネイア) 中央7戦0勝

ナローパス(18 牡父ハービンジャーGB)地方36戦5勝

アルナシーム 本馬(19 牡父モーリス)中央23戦7勝(中山金杯GⅢ、中京記念 GⅢ カシオペアS・I、垂水S、瀬戸内海特別、城崎特別、都大路S・

1.2着) 獲得賞金205,272,000円

上巻) 捷向總貢並

(24 牡父リオンディーズ)
※20、23(不受胎)、21(流産)
祖母ドバイマジェスティUSA
北米12勝(B C フィリー & メアスプリントG1、サラブレッドクラブオブアメリカS^{G2}、ウイニングカラーズS^{G3}2回、フランクリンカウンティS・L、インクレディブルリヴィエンジS・L)、米牝馬チャンピオンスプリンター、10年輸入
ジゴベルマリ(12 前半)

アルAIN(14 牡父ディープインパクト)中央、香5勝(大阪杯G1、皐月賞G1、毎日杯G3、オールカマーG2着、京都記念G2着)、種牡馬

ダノンマジエスティ(15 牡父ディープインパクト)中央4勝(但馬S)

ヒメノカリス(17 牝父ディープインパクト)中央4勝(新春S)

シャフリヤール(18 牡父ディープインパクト)中央、首、北米、英4勝(日本
ダービーG₁、ドバイシーマクラシック・首G₁、毎日杯G_{III}、ジャパンC G_I
2着、ドバイシーマクラシック・首G₁2着、有馬記念G₁2着、ジャパン
C G_I3着、BCターフ・米G₃3着(2回)、種牡馬。

重賞未勝利馬が上位人気を占めた京都金杯に対し、中山金杯は勲章を持つ馬たちが中心勢力を形成。ハンデ戦らしい混戦マードに包まれたなか、同舞台の紫苑Sをレコードで制したクリスマスパレードと、函館記念を完勝、秋の天皇賞でも3着に食い込んだホウオウビスケッツが4倍台のオッズで1、2番人気を分けた。新潟記念の覇者シリヨクガがこれに続いたものの、鮮やかな強襲を決めたのは4番人気のアーノナルシーム。明け6歳のモーリス産駒が新境地を開拓する勝利を飾った。

軽快なダッシュで飛び出したクリスマスパレードが、1コーナーで思い切りよく先頭に立ち、レースを先導。レ

かし2番手のホウオウビスケツに「
一クされてペースを落とせず、11秒台
のラップを連発する厳しい形の逃げと
なってしまう。そんな1、2番人気馬
を遠目に見遣りながら、シンリヨク力
は中団の外を追走。アルナシームの藤
岡佑介騎手はその後のインに收まり、
折り合いに専念した。

4コーナーでホウオウビスケツに
並びかけられても、クリスマスパレー
ドは頑として先頭を譲らず、直線の攻
防の幕が開く。3番手を追走してきた
ボーンディスウェイも前を呑み込みに
かかつたが、その外を鋭く伸びたのが
アルナシームだった。4コーナーから
徐々に進出、先行勢を射程に収めた藤
岡騎手が本格的に追い出すと、馬も弾